

茶

1 葉、樹体に付着・浸透した放射性セシウムの除去

- 放射性セシウムの新芽への転流を防ぐため、深刈り等のせん枝、整枝を徹底しましょう。

汚染の程度が高い場合は中切りがより有効です。ただし、一番茶摘採後の適期よりも遅くに中切りを実施すると、樹体が衰弱し、次年産の生産に支障をきたす恐れがありますので、適期を逃さないよう注意してください。

2 放射性セシウムを含む土、ほこり等の付着の防止

- 管理用機械等を使用する前に、十分洗浄しましょう。

摘採機、管理機、運搬機及び摘採袋については、付着した土、ほこり、葉くず等を落としてから使用しましょう。

荒茶加工機械についても、茶シブ等の残渣を取り除いて使用しましょう。

- 事故当時に屋外にあった資材(被覆資材等)の使用を避けましょう。

降下した放射性セシウムに汚染されている可能性がありますので、安全が確認できない場合は使用を避けましょう。

- かん水には、汚染されている可能性のない水を使用しましょう。

貯水槽・タンクに沈降した泥等は汚染されている可能性があります。汚染が疑われる場合は、貯水槽やタンクを洗浄するか、安全な水への切り替えを行いましょう。特に、長期間使用していない場合は注意しましょう。

【チェックリスト】茶 （注：果樹のチェックリストも参考にしてください）

分類	チェック項目	レ 欄
樹 体 か ら の 除 去	① 当該市町村や近隣市町村における茶の放射性物質検査結果を参照し、過去に基準値超過が見られた場合は、農業改良普及センターに相談し、深刈り等のせん枝、整枝を行う。	☐
	② 通常、秋整枝のみを行い春整枝を行わない茶園においては、秋整枝では通常より浅めの整枝を行い、春整枝の時期に、秋整枝の刈り残し分を刈り落とす。	☐
	③ 中切りを行う場合は、一番茶摘採直後の適期に実施する。適期を逃すと樹体が衰弱する恐れがあるため、注意する。	☐
混 入 の 防 止	④ 摘採機、管理機、運搬機及び摘採袋については、使用前に付着した土、ほこり、葉くず等を落とすため、水洗い等により十分洗浄する。	☐
	⑤ 生葉を荒茶加工する前に、荒茶加工機械を水洗い等により十分洗浄する。	☐
	⑥ 事故当時屋外にあった被覆資材等は、汚染している可能性があるため使用しない。	☐
	⑦ かん水に使用する貯水槽・タンクを洗浄する。あるいは、汚染の可能性がない水に切り替える。	☐